

新型コロナウイルス感染症に対する取組

日本慢性期医療協会 会長 武久洋三

日 時 令和2年8月31日 17:30~20:00

会議名 第9回認知症医療介護推進会議

新型コロナウイルス感染症は、今や国内の罹患者が5万人を超える勢いで拡大し、すでに市中に蔓延する状態になっております。感染症指定医療機関に限らず、慢性期型地域多機能病院であっても新型コロナウイルス感染症患者への対応を余儀なくされております。

慢性期型地域多機能病院の入院患者は、ほとんどが高齢者であり複数の疾患を有しておられます。これらの患者が新型コロナウイルス感染症を罹患すれば重症化のリスクが非常に高いことは明らかなです。当会も協力した日本老年医学会「COVID-19 拡大下における認知症者と介護者への影響調査」の結果では、医療・介護施設の38.5%において感染の拡大により、認知症者の行動心理症状の出現・悪化、認知機能の低下、身体活動量の低下等の影響がみられたことが報告されております。

医療従事者として、どのような状況であろうと最善を尽くし、診療や患者のケアを行うのは当然のことと考えますが、一方では、外来ならびに入院患者数の大幅な減少による経営悪化も大きな問題となっていることは周知のとおりです。

当会としては、地域医療を守るためにしかるべき役割を果たし、引き続き奮迅の努力を惜しまず対応してまいります。行政や医療・介護の現場、そして国民が一体となってこの難局を乗り切ることができるよう、関係各位の一層のご理解と調整が必要であると考えます。

《日本慢性期医療協会の新型コロナウイルス感染症に対する取組》

1. ダイヤモンド・プリンセス号下船者への支援（令和2年2月）

日 程 令和2年2月14~19日（24時間体制）

場 所 埼玉県和光市 税務大学校（若松寮）

支援対象 ダイヤモンド・プリンセス号から下船された約70名の高齢者

支援体制 総括班：総務省、国立保健医療科学院、自衛隊

医療班：厚生労働省、DMAT、検疫官、薬剤師会、日本慢性期医療協会

生活班：文部科学省、国土交通省、法務省

食事班：農林水産省

通訳班：外務省

日本慢性期医療協会からの派遣

医師12名、薬剤師3名、看護師10名、介護福祉士1名、事務2名（計28名）

感染管理に関する課題抽出

施設内のゾーニング、医療および生活に関する物資の調達整備、

カルテや投薬情報の共有（処方薬の把握と処方箋の発行）、

支援者側の感染管理

2. 韓国慢性期医療協会との情報交換（令和2年3月）

韓国慢性期医療協会 会長 金徳鎮先生より、韓国での感染状況と、金先生が理事長を務める昌原喜縁病院での感染管理対策の情報提供をいただく。

韓国・昌原喜縁病院での感染対策として、職員に社会的距離をおくことを励行し、毎日、職員へのアンケートを実施することで感染拡大の防止に努められていることを把握。

職員アンケート項目：感染者との接触、発熱・咳等の身体状況、休日や退勤後の外出の状況、など

3. 役員施設での新型コロナウイルス感染症対応に関するアンケートの実施（令和2年4月）

*アンケート結果からの抜粋

3-1. 新型コロナウイルス感染症疑い患者を含めて、発熱患者全般に対してどのような対応を取られていますか

- ・新型コロナウイルス感染症疑い患者を含めて、発熱患者全般を積極的に受け入れている 5.7%
- ・新型コロナウイルス感染症疑い患者は電話対応（紹介含）のみで、それ以外の発熱患者全般は受診も含めて積極的に受け入れている 18.9%
- ・新型コロナウイルス感染症疑い患者はすべて帰国者・接触者相談センターへ紹介し、それ以外の発熱患者全般は受診も含めて積極的に受け入れている 34.0%
- ・発熱患者全般に電話対応のみとしている 20.8%
- ・その他 20.8%

3-2. 4月7～13日の1週間について、役員53病院中4病院において計22名の新型コロナウイルス感染症及び疑似症の入院患者の受入れあり。

4. 厚生労働省に新型コロナウイルス感染症に関する慢性期医療における対応への支援に関する要望書を提出（令和2年4月24日）

4-1. 新型コロナウイルス感染症患者の入院先の的確な調整と確保

新型コロナウイルス感染症患者、あるいはその疑いが強い場合には、感染症指定医療機関等にスムーズに移送できるようご配慮をお願いしたい。

4-2. 慢性期型地域多機能病院における資材の確保や報酬上での支援について

防護資材の充足と、報酬上においてのご配慮をお願いしたい。

4-3. 慢性期型地域多機能病院で新型コロナウイルス感染症患者が発生した場合について

職員配置の施設基準等に関してのさらなるご配慮をお願いするとともに、職員の感染リスクに関する手当等についてもご検討をお願いしたい。

4-4. 新型コロナウイルス感染症から治癒された患者への対応について

高齢者が新型コロナウイルス感染症から治癒した場合は、要介護度の悪化や、廃用症候群などをきたしていることも予想される。感染後の患者の受け入れや報酬上のご配慮をお願いしたい。

4-5. 地域内協力体制の構築について

感染症患者の集中化、組織を横断しての情報共有、連携体制の構築

以上